

《市民会館（旧茂木佐平治邸）建築 100 周年記念事業》

「野田のおしょうゆコレクション」と 「夏障子の特別公開」

～樽づくりや縄掛けの技が見られるイベントも～

野田市市民会館は、大正 13 年（1924）ごろに建てられた醤油醸造家・茂木佐平治家の旧邸宅で、昭和 31 年（1956）に野田醤油株式会社（現・キッコーマン株式会社）の創立 40 周年を記念して野田市に寄贈された。翌年から市民会館として使用されており、市民の文化活動と交流の場となっている。本年、建築から 100 年の節目を迎えたことから、市民会館（旧茂木佐平治邸）建築 100 周年記念事業として企画展・収蔵資料品展「造る・容れる・広める 野田のおしょうゆコレクション」と「夏障子の特別公開」を開催する。

茂木佐平治家は、野田で江戸時代より醤油づくりを営んできた醤油醸造家の一つで、同家の本印（最上位のブランド名）であった「亀甲萬」（キッコーマン）印は、大正 6 年（1917）に創立した野田醤油株式会社（現・キッコーマン株式会社）の商標として受け継がれ、現在に至っている。

昭和 34 年（1959）に開館した野田市郷土博物館では、開館以来、醤油づくりに関わる資料を広く収集しており、「醤油関連資料」という独自の分類項目を設けている。これらの資料を「造る」（醸造）、「容れる」（容器）、「広める」（広報）という 3 つのテーマから紹介する令和 6 年度企画展・収蔵資料品展「造る・容れる・広める 野田のおしょうゆコレクション」を開催する。

併せて、樽職人の仕事の様子や、出荷するしょうゆ樽に縄を巻き付ける独特の技を見ることができる関連イベントも行う。

また、市民会館の開館以降、永らく使用されていなかった夏障子の特別公開も行う。旧茂木佐平治邸の夏障子は、非常に細く割った竹で作られており、醤油醸造家の邸宅としての風格を感じさせるものとなっている。公開日には、和室や玄関、廊下等に季節に合わせたさわやかな夏の花を生け込み、近代和風建築の夏の趣を感じられる展示も行う。

●令和 6 年度企画展・収蔵資料品展「造る・容れる・広める 野田のおしょうゆコレクション」

【開催期間】令和 6 年 7 月 6 日（土）～ 9 月 23 日（月） ※火曜休館

【開館時間】 9時～17時

【会場】 郷土博物館 1階展示室（野田市野田 370-8）

【料金】 入場無料

●関連イベント

①樽づくりの技を見てみよう！

【日時】 令和6年7月13日（土）10時30分～16時

【会場】 郷土博物館 1階展示室

【料金】 無料

【講師】 萩原幹雄氏（栃木県在住。野田の樽職人・玉ノ井芳雄に樽づくりを学び、「萩原製樽」を営む。栃木県伝統工芸士）

②縄掛けの技を見てみよう！

【日時】 令和6年9月16日（月・祝）13時～16時（随時）

【会場】 郷土博物館 1階展示室

【料金】 無料

【講師】 須田貞夫氏（元キッコーマン株式会社社員）

※いずれも事前の申し込みは不要。直接会場へお越しください。

●夏障子の特別公開

【開催期間】 令和6年7月13日（土）、14日（日）

【開館時間】 9時～17時

【会場】 野田市市民会館（野田市野田 370-8）

【料金】 入場無料

【協力】 野田市いけばな協会

問合せ＝野田市郷土博物館・市民会館・直通 04-7124-6851

野 田 市